



# 基準資料展示室と文化情報広場

—九州歴史資料館2階の展示スペース—

Kyushu Historical Museum Exhibition guide

九州歴史資料館の2階には、基準資料展示を行う第3展示室と、各種パネル展や全国の博物館等の情報を提供する文化情報広場の2つの展示スペースがあります。基準資料の展示方法も、ロッカー式や引き出し式など、他の博物館ではあまり見られない方法を試みています。

## 1 基準資料展示室(第3展示室)

第1展示室の上部にある第3展示室では、基準資料展示を行っています。基準資料展示とは、調査研究によって明らかにされた資料の型式や年代、地域性を理解する上で基準となる資料を標本のように網羅的、体系的に展示したものです。通常の展示ではなかなか表現できない資料の集合体や形状の変化の過程を理解することができます。以下、展示内容を紹介します。

### 1) 弥生土器

稲作が始まった弥生時代に使用された土器です。米などを煮炊きする甕<sup>かめ</sup>と、貯蔵するための壺に代表されます。どちらも時期により口縁部や底部の形に変化が見られ、表面の文様や色が時期によって異なります。

### 2) 甕棺

甕棺とは、弥生時代の北部九州を中心に広まった土器の棺のことです。甕棺どうしを合わせて蓋をすることが多く、成人を埋葬するための大型棺は高さ1mを超えます。時期により、大きさだけでなく、口縁部や胴の形、表面の調整技術も変わっていきます。

### 3) 須恵器

須恵器とは古墳時代に朝鮮半島から伝えられた土器です。丘陵に掘られた窯の中で、1,000℃以上の温度で焼かれ、硬く灰色になります。ロクロで回転させな



基準資料展示(第3展示室)



弥生土器の展示(ロッカー式)



甕棺の展示



須恵器の展示

がら、表面を削ったり、なでたりして形を整えます。時期により大きさや形状が変化します。

#### 4)瓦

飛鳥時代に朝鮮半島から伝えられた瓦は、寺院や宮殿、役所の屋根に葺かれました。須恵器と同じく、窯で焼かれますが、焼き具合によって色も変わります。時期により蓮華や唐草を描いた文様や製作技法が変わっていきます。主に大宰府史跡で出土した軒丸瓦・軒平瓦・平瓦を中心に展示しています。

#### 5)資料群展示

引き出し式の展示ケースでは、調査研究の中で、単体では理解しにくい破片や一部の資料を、資料群として並べることによって、本来の価値や機能、時代性を浮かび上がらせます。石器、鉄器、陶磁器の他、文字瓦、滑石製石鍋転用品、鑄造に使用した遺物など、珍しい資料も展示しています。

## 2 文化情報広場

第4展示室上部の文化情報広場では、福岡県内を

中心とした文化財を紹介する展示スペース、さらには全国の博物館施設等の催し物の情報等を、来館者に提供する場所となっています。

展示は、福岡県で進めている世界遺産登録推進運動の紹介などの他、朝鮮半島の文化遺産など、実物資料では、なかなか紹介できない内容を、主にパネルを中心とした構成でとりあげています。

また、広場の一角には、全国各地から送られてくる博物館等の展覧会などの催し物などのチラシを設置するコーナー、九州歴史資料館の分館(甘木歴史資料館・柳川古文書館・求菩提資料館)の情報を提供するコーナーも充実させており、来館者の方々へ広く情報提供する場となっています。

また、2階には九州歴史資料館が所蔵する図書を収蔵し、閲覧するスペースも設け、来館者への便宜を図っています。

(学芸調査室 杉原敏之・岡寺 良)



瓦の展示



文化情報広場 (パネル展示)



資料群展示 (引き出し式)



文化情報広場 (分館情報)



編集 発行: 平成25年2月15日

**九州歴史資料館**  
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒838-0106 福岡県小郡市三沢 5208-3  
TEL 0942-75-9575 FAX 0942-75-7834  
URL <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/>